

2025年12月18日
株式会社 キューデン・インターナショナル
九州電力株式会社

エジプト・アラブ共和国 太陽光発電・蓄電池事業に参画します

— 九電グループ初の北アフリカにおける電力事業展開により、脱炭素社会の実現に貢献 —

九電グループである株式会社キューデン・インターナショナル（以下、キューデン・インターナショナル）は、アラブ首長国連邦を拠点にカーボンニュートラルの実現を目指すAMEA Power社（以下、AMEA社）※1と共に、エジプト・アラブ共和国（以下、エジプト）における太陽光発電及び蓄電池事業（以下、「本事業」）に参画いたします。本事業は、AMEA社が60%、キューデン・インターナショナルが40%を出資し、エジプトのアスワン県に1,000MWの太陽光発電所と600MWhの蓄電池システムを建設します。

本件は、九電グループで初めてとなる北アフリカにおける電力事業展開であり、今回の参画により海外発電事業の持分出力は約278万kW※2となります。

本事業は、国際金融公社（IFC）の主導のもと資金調達を行い、イタリア預託貸付公庫（CDP）、オランダ開発金融公庫（FMO）、ドイツ投資開発公社（DEG）、英国国際投資公社（BII）、OPEC開発基金、ヨーロッパ・アラブ銀行（EAB）※3などの国際パートナーからの資金が含まれております。

エジプト政府は、電源構成のうち再生可能エネルギー由来の発電を2030年までに42%に拡大する目標を掲げています。九電グループは、これまで培った高い技術力や豊富な経験を活用し、世界各国で更なる事業展開を進め、「九電グループ経営ビジョン2035」及び「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」の実現に向けて、引き続き挑戦してまいります。

[事業概要]

所在地	エジプト・アラブ共和国アスワン県アスワン市
設備概要	太陽光 1,000MW + 蓄電池 600MWh
売電先	エジプト送電公社 (Egyptian Electricity Transmission Company)
株主構成	AMEA社 60%、キューデン・インターナショナル 40%

※1 アラブ首長国連邦AMEA社と再エネやグリーン水素分野での協業に関する覚書を締結
([2025年6月4日お知らせ済](#))

※2 営業運転前の参画案件を含んだ値

※3 国際金融公社（IFC）: International Finance Corporation

イタリア預託貸付公庫（CDP）: Cassa Depositi e Prestiti

オランダ開発金融公庫（FMO）: Dutch Entrepreneurial Development Bank

ドイツ投資開発公社（DEG）: Deutsche Investitions- und Entwicklungsgesellschaft

英国国際投資公社（BII）: British International Investment

OPEC開発基金: OPEC Fund for International Development

ヨーロッパ・アラブ銀行（EAB）: Europe Arab Bank

以上